

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: 湿式りん酸	
供給者の会社名称	: 片倉コープアグリ株式会社	
住 所	: 東京都千代田区九段北一丁目8番10号	
担当部門	: 生産技術本部 生産技術部	
電話番号	: 03-5216-6614	
FAX番号	: 03-5216-6621	f
緊急連絡先	: 03-5216-6614	
推奨用途及び使用上の制限	: 工業用	

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

: 爆発物	区分に該当しない
: 鈍化性爆発物	区分に該当しない
: 可燃性ガス	区分に該当しない
: 可燃性/引火性エアゾール	区分に該当しない
: 酸化性ガス	区分に該当しない
: 高圧ガス	区分に該当しない
: 引火性液体	区分に該当しない
: 可燃性固体	区分に該当しない
: 自己反応性化学品	区分に該当しない
: 自然発火性液体	区分に該当しない
: 自然発火性固体	区分に該当しない
: 自己発熱性化学品	区分に該当しない
: 水反応可燃性化学品	区分に該当しない
: 酸化性液体	区分に該当しない
: 酸化性固体	区分に該当しない
: 有機過酸化物	区分に該当しない
: 金属腐食性化学品	区分 1

健康に対する有害性

: 急性毒性(経口)	区分 4
: 急性毒性(経皮)	区分 5
: 急性毒性(吸入:ガス/蒸気)	区分に該当しない/分類できない
: 急性毒性(吸入:粉じん/ミスト)	区分 4
: 皮膚腐食性/刺激性	区分 1
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
: 呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
: 生殖細胞変異原性	分類できない
: 発がん性	分類できない
: 生殖毒性	分類できない
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(呼吸器)
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
: 誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

: 水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
: 水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
: オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 金属腐食のおそれ
飲み込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
吸入すると有害
呼吸器の障害

注意書き

- 【安全対策】 : 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- 【救急処置】 : 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は毛に付着した場合、直ちに汚染された衣類を脱がせ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
飲み込んだ場合、皮膚に付着した場合、吸入した場合、眼に入った場合は、直ちに医師に連絡すること。
気分が悪い場合、医師の手当て、診断を受けること。
- 【保管】 : 耐腐食性のある容器に保管すること。
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- 【廃棄】 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学物質・混合物の区別

: 化学物質

化学名又は一般名、別名

: りん酸(Phosphoric acid) (H_3PO_4)
オルトリン酸(Orthophosphoric acid)

CAS番号

: 7664-38-2

官報公示整理番号

: 化審法番号 1-422

(化審法・安衛法)

安全衛生法施行令(通知対象物質) 618

4. 応急措置

- | | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに汚染された衣服などを速やかに脱がし、製品に触れた部分を多量の水で洗浄する。速やかに医師の手当を受ける。その場で痛みなどの症状が出なくても、障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受ける。 |
| 目に入った場合 | : 直ちに多量の水で15分以上洗浄ののち、速やかに眼科医の手当を受ける。洗浄の際は、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼のすみずみまで、水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用の場合、固着していない限り、取り除いて洗浄する。すぐに痛みが無く視力に影響がなくても、障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 水でよく口の中を洗浄し、速やかに医師の手当てを受ける。多量の水を飲ませ、希釈する。無理に吐かせてはならない。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。嘔吐が起る場合には、気管に入らないように身体を傾ける等注意する。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|---|
| 適切な消火剤 | : この製品自体は燃焼しない。 |
| 使ってはならない消火剤 | : 棒状水 |
| 特有の危険有害性 | : 不燃性であるが、強熱されると加熱分解によりガス(りん酸化物)を発生する恐れがある。 |
| 特有の消火方法 | : 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火活動は風上から行い、適切な保護具を着用する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|-----------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 | : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には適切な保護具を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。 |
| 環境に対する注意事項
回収・中和 | : 公共用水域に流出しないように留意する。
少量の場合は、吸着剤で吸着させ回収する。
多量の場合は、盛土等で囲って流出を防止し、安全策を行ってから処理する。回収物は密閉性のあるポリエチレン、塩化ビニル、ステンレス或いはゴムライニングされた容器に収納する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|-----------|---|
| 取扱い上の注意事項 | : 換気の良い場所で行い、許容濃度以下に保つようにする。
取扱いの際には、適切な保護具を着用し、風上で作業する。
取扱い後は、使用した保護具、手、顔等をよく洗う。
製品容器は、破損につながる粗暴な取扱いをしないようにする。 |
| 保管上の注意事項 | : 乾燥した冷暗所に保管し、雨水、日光等が当たらないようにする。
ポリエチレン、塩化ビニル、ステンレス或いはゴムライニングされた容器に保管する。(60℃以下)
鉄、亜鉛メッキ、アルミ等は容器が腐食し、可燃性の水素ガスが発生するので使用しない。 |

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会(2005年版)	: 1 mg/m ³ (最大許容濃度)
ACGIH(2006年版)	: TLV-TWA 1 mg/m ³ TLV-STEL 3 mg/m ³
設備対策	: 蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は、許容濃度以下に保つような換気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
保護具	
呼吸器の保護具	: マスク(酸性物質用)
手の保護具	: 適切な保護手袋(耐酸性ゴム手袋など)
眼の保護具	: 側板付き普通眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣(耐酸性ゴム手袋、エプロン、ブーツなど)、ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など	: 無色透明の液体
臭い	: 無臭
pH	: 1.5 (0.1N aq.)
融点	: -17.5℃ (H ₃ PO ₄ 75%)
沸点	: 135℃ (H ₃ PO ₄ 75%)
蒸気圧(全圧)(25℃)	: 799.9Pa (H ₃ PO ₄ 75%)
比重(25℃)	: 1.57 (H ₃ PO ₄ 75%)
溶解度	: 水、エタノールに易溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温では化学的に安定であるが、350℃以上になれば殆どの金属物質と反応し水素ガスを発生する。
反応性	: アルカリ性物質と反応する。 鉄、アルミニウムなどの金属を腐食し、可燃性の水素ガスを発生する。
混触危険物質	: 金属類
危険有害な分解生成物	: りん酸化物、水素ガス

11. 有害性情報

急性毒性	: 実施例は、りん酸100%換算 経口 ラット LD ₅₀ 1,530mg/kg 皮下 ウサギ LD ₅₀ 2,740mg/kg 吸入(ミスト)ラット LD ₅₀ 3,846mg/m ³
皮膚腐食性・刺激性	: pH1.5(0.1N aq.)の強酸であるため、腐食を生じる。
刺激性	: 実施例は、りん酸100%換算 皮膚 ウサギ 595mg/24Hr 眼 ウサギ 119mg
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 吸入による重度のばく露で嗄声、呼吸困難、喘鳴(喉頭浮腫による)、最も深刻なケースでは非心原性肺水腫を引き起こす場合がある。

12. 環境影響情報

魚毒性	: 水生生物に有害でLD ₅₀ /96Hrは、100～1,000mg/Lである。 TLm=138mg pH4近辺にて淡水魚は致死する。
-----	---

13. 廃棄上の注意

- : 大量の水で希釈して排出する。pH値に注意のこと。
- 水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように充分留意する。
- 取扱い及び保管上の注意事項の記載にも注意する。
- ソーダ灰と消石灰の溶液中に徐々に添加・中和後、沈殿濾過して残渣は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に

委託する。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連番号 : 1805
国連品名 : PHOSPHORIC ACID, SOLUTION
国連分類 : クラス 8(腐食性物質)
容器等級 : III
海洋汚染物質 : Not applicable

国内規則

陸上規制情報 : 非該当
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
他の危険物のそばに積載しない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号第618号)
船舶安全法 : 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法 : 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法 : Z類物質(施行令別表第1 有害液体物質)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物
水質汚濁防止法 : 排水規制物質、水素イオン濃度

16. その他の情報

参考文献

1. 14705の化学商品 2005年 (化学工業日報社)
2. 国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所)
3. GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
4. GHSモデルMSDS情報(中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。
危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。
注意事項等は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮をお願いします。